



内閣官房副長官補  
(事態対処・危機管理担当)付  
参事官補佐

鉄橋 正士

TETSUHASHI Masashi

内閣官房

## 緊急事態への初動対応を通じ

内閣官房副長官補（事態対処・危機管理担当）付（通称“事態室”）では、何らかの緊急事態（地震や台風等の自然災害、弾道ミサイルの発射、テロなど）が発生した際、関係省庁からの情報集約や対応に係る総合調整等の初動対応を行っています。普段は総理大臣官邸近くの庁舎にて勤務していますが、緊急事態発生時には官邸内（まさに国の中枢）の危機管理センターにて対応にあたります。

令和3年10月7日22時41分頃、千葉県北西部を震源とする地震が発生し、東京都足立区等で最大震度5強を観測しました。自宅にいた私は即座に自転車に乗り危機管理センターへ駆けつけ、関係省庁から五月雨に報告される被害情報の集約等の初動対応にあた

りました。集約した情報は総理大臣や内閣官房長官に報告され、その内容は会見で言及されるなど、果たす役割は非常に大きく、国の中枢で働くことの重みを感じます。

一方で、被害情報を集約するにしても、自治体や各省庁の対応なしにはで

きません。緊急事態への初動対応を通じ、感染症、食中毒、断水、緊急事態における医療の提供など、健康危機管理事案に対する厚生労働省の役割が非常に重要であることを日々実感しています。